

AMDA

多様性の共存

ジャーナル

認定 特定非営利活動法人アムダ (AMDA)
<http://amda.or.jp/>
 特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構
<http://www.amda-minds.org/>
 特定非営利活動法人 AMDA 国際医療情報センター
<http://amda-imic.com/>

被災者の多くが女性と子どもたち



病院に搬送された子どもに声をかける
 AMDA 岩本看護師

9月27日にAMDA本部から看護師を、パロチスタン州に隣接するカラチ(Karachi)に派遣し、28日からカラチ市内を拠点に、現地協力団体NRSPと合流し、地震の被害を把握と支援ニーズの聞き取り調査や、病院の視察を行いました。

29日に訪れた国立ジナ病院では約60人の被災者が着の身着のままトラックなどに乗り来院していました。地震が発生した時間に男性は外出しており、家に居たのは女性や子どもだったため、家屋の下敷きになったことによる外傷を伴う女性や子供の患者が多く見られ

2013年 10月 25日 VOL.36 第267号 定価 550円
 発行/AMDA 〒700-0013 岡山市北区伊福町3-31-1
 TEL 086-252-7700 FAX 086-252-7717
 E-mail:member@amda.or.jp
 郵便振替:01250-2-40709 口座名:特定非営利活動法人アムダ

2013年
 秋号

秋

救える命があればどこへでも

パキスタン南西部地震緊急医療支援活動

2013年9月24日にパキスタン南西部パロチスタン州(Baluchistan)で発生したマグニチュード7.7(米地質調査所:USGS発表)の地震で、現地協力機関であるNRSP(*)の初期調査によると、パロチスタン州アラワン県で530人のほか、周辺の県をあわせて、少なくとも574人の死亡と、632人の負傷が報告されました。この数には瓦礫の下にいる人々は含まれておらず、今後も増える予想されていました(10月4日時点)。このような状況を受け、AMDAは現地協力機関と共同で、緊急医療支援活動を実施しました。

(*)NRSP:1991年設立、パキスタン・イスラマバードに本部をおくNPO。活動は、パキスタン全土の54の地域に広がる。僻地の地元住民の能力開発による貧困対策を目的とし、マイクロクレジットなどの活動を行っている。

ました。症状としては四肢の骨折や脊椎の損傷、内臓損傷が多く、病院に来ている被災者の中には地震で家族を亡くした人も多くおられました。特に家族を失った子どもの精神的ダメージは大きいものでした。また、同日訪問した私立のアガハーン病院では、市民病院から2人の重症患者が搬送されてきていました。うち一人は、複雑骨折により搬送されてきたものの意識があり、AMDA看護師に対して「わざわざ日本からありがとう。自分たちが忘れられていないと思うと嬉しい」と語ってくれました。

アジア相互扶助緊急救援ネットワークの稼働

病院では患者と付添者に無料で水や食糧を提供していましたが、今後さらに必要であることから、AMDAは国立ジナ病院へ飲料水を寄贈することに決定しました。また、多くの家屋が崩壊し、被災者の住居が不足していることから、NRSPを通じてアラワン地区などに竹製の仮設テント約2400個を寄贈するこ

とを決定しました。地震があった地域は、治安上の問題から同国人も入域に危険を感じるという地域。今回の活動では、パキスタン・イスラマバードに本部を置き、国内54の地域で活動を行っているNPO・NRSPの協力により、迅速かつ安全に活動を行うことができました。同団体は4月にAMDAが主催したアジア相互扶助緊急救援ネットワーク会議に参加した、ネットワークの構成団体。ネットワークの稼働が、実際の災害現場での迅速な支援活動を可能にしています。

■派遣者:岩本 智子
 AMDA 職員、看護師(米国ライセンス)



パキスタン・タッタ県洪水フォローアップ活動

2010年7月に発生したパキスタン・タッタ県での洪水被害に対する医療支



ミシンを受け取った女性たち

援活動のフォローアップ活動として、2013年8月20日に、現地協力団体NRSPの技術訓練を履修した18名の女性ひとりひとりに支援物資としてミシンが手渡されました。これは、緊急医療支援活動に参加した土佐調整員のパキスタン再訪に合わせ実現したもので、村のコミュニティホールで贈呈式が開催されました。受け取った女性からは「服の仕立ての仕事が

したいと願ひ続け、今日こうしてミシンをいただくことができ、その夢が叶いました」と喜びの声が聞かれました。

この2010年に発生したタッタ県での緊急医療支援活動では、約2ヶ月に渡りAMDA多国籍医療チームを派遣し、NRSPの協力のもと、巡回診療を実施しました。その結果、のべ約5,000人の患者を診療することができました。

事前準備から出発まで

今年で3年目を迎えたおかやま国際塾の3期生が8月21日から28日の日程で、スリランカでの海外研修を終え、帰国しました。

6月16日に行われた開講式から出発までの約2か月弱、3名の国際塾生が主体となり、AMDAスタッフのアドバイスを受けながら、現地との調整、英語でのプレゼン、衛生教育の準備、スリランカと日本の関係、歴史についての学習を事前に行いました。事前準備は海外研修の内容を左右する重要な過程であり、これも国内研修の一部です。

いざ海外研修・スリランカへ

8月21日に岡山空港から出発した3名は、翌日22日にスリランカに到着しました。

滞在中は、スリランカ国立病院の見学、コロombo大学医学部の訪問などをおこないました。また、スリランカのNGOサルボダヤの事務所訪問では、自分たちのメッセージを込めた「スリランカと日本のかけ橋」というプレゼンを英語で行いました。また、幅広い年齢

層の障害者が居住する支援学校を訪れ、学生20人を対象に、コロombo大学生に通訳の助けをかりて、歯磨きと手洗いの衛生指導や、折り紙を使った交流をしました。

さらに研修期間中に、同国で開催されていた「AMDA・Religions for Peace 合同平和構築プログラム」にも参加し、異なる民族、宗教、言語の現地中学生と日本から参加した中高生と共に、それぞれスポーツ、文化などの交流を楽しみました。

この海外での研修を通じて、平和の



スリランカの学生たちと

大切さや同世代交流の素晴らしさを体感し、さらに「できなかった」ことを克服しようとする前向きさが見られました。今後は報告会を予定しています。

AMDA・Religions for Peace 合同平和構築プログラム

2013年8月23日から25日の日程で、スポーツ、宗教、文化の交流プログラムを「AMDA Religions for Peace 合同平和構築プログラム」としてスリランカのコロンボで実施しました。これは文化交流やスポーツを行うことを通じて、異なる民族や宗教間での相互理解を深めるためのものです。2004年に開始したスリランカ医療和平事業（Peace Building Project）のパート2として、2011年に開始し、今年で3回目。今年初めての試みとして、日本から佼成学園の中学生20人も参加し地元コロomboにある7つの学校から4つの宗教（仏教、イスラム教、ヒンズー教、キリスト教）の学生が参加しました。



混合チームでサッカーをする中学生たち

おかやま国際塾1期生からの喜びの報告

2011年からスタートしたおかやま国際塾の第1期生として参加した2人の学生さんが、第1希望先に就職内定という喜びの報告に事務局を訪れてくれました。おかやま国際塾での経験がどのようにいかされたのでしょうか？

国際塾1期生 柳浦 睦美 岡山大学法学部4回生

私は、2回生の時に「おかやま国際塾」に参加し、未知の世界へ踏み出すこと、そして多くの人々と出会うことの素晴らしさを心から実感しました。そして、この活動を通じて肌で感じたことは、「大きな困難にぶつかっても、信頼し合える仲間と共に実現に向けて自分の足で一步踏み出すことで、その困難は自分を成長させる素晴らしい財産になる」ということです。このように感じる事ができたのは、AMDAの方々やモンゴルで関わった方々に「信頼関係構築力」、「思いを行動に移す実行力」の大切さを教えて頂いたからこそだと思います。また、様々な世界を知り、多くの事を学んだことで、自分の将来の道を見つけることができました。「人と土地

との出会い」を仕事とする「旅行業界」に魅力を感じ、就職活動を経て旅行会社から内々定を頂くことができました。社会に出ても、おかやま国際塾で学んだことを胸に、人と人との繋がりを大切に、新しい世界に挑戦し続けていきたいと思えます。

菅波代表を始め、AMDAの方々に出会い、貴重な経験ができたことを誇りに思います。これまで関わった全ての方に心から感謝しています。本当にありがとうございました。



国際塾1期生 秀川 佳苗 岡山大学法学部4回生

「おかやま国際塾」への参加が、それ以後の大学生生活を大きく変えました。ここで鍛えて頂いた①実践力、②目的設定力、③信頼関係構築力のおかげで、想いを形にする経験が出来ただけでなく、自分の将来の道筋をも立てることも出来ました。まず、動き出し、そのプロセスの中で、壁にぶつかりながらも周囲の方々と協力し、ひとつずつ課題をクリアしていくという、社会に出て必ず必要となる基礎能力を大学2年という早い段階で経験させて頂き、その苦しさと同時に楽しさを知ったことは私の財産だと思います。素晴らしい場を提供して下さい、本当にありがとうございました。

← 写真左から秀川さん、柳浦さん

岡山の大学生が被災地でボランティア活動

8月24日から27日までの日程で「東日本大震災復興支援ボランティア活動」が開催され、岡山県内の大学生40人と、県内の企業や大学関係者総勢約60人が宮城県石巻市雄勝町と岩手県大槌町でのボランティア活動を行いました。これは岡山経済同友会と大学コンソーシアム岡山主催の活動で、今年で3回目となります。被災地での受け入れ、コーディネートをおAMDが担当しています。

宮城県石巻市雄勝町では廃校の再生プロジェクトとして清掃活動やワカメ天日干しをするための作業場の草抜き



雄勝町での廃校再生ボランティア活動を終えた参加者全員で

を行いました。思いがけず、地元の方からのねぎらいの言葉とともに手作りの郷土料理などもふるまわれる、にぎやかなひと時となりました。さらに岩手県上閉伊郡大槌町に移動した一行は、

地元の方々との意見交換や雨の中での清掃活動を行いました。学生からは「多くのことを感じ、考える機会になった。」との感想が聞かれ、次世代を担う学生の、貴重な体験の場となりました。

第3回サッカー親善交流事業を開催しました！



参加者全員で記念撮影

2013年8月11日(日)、気仙沼市立津谷中学校のグラウンドを会場に復興支援第3回目となるサッカー親善交流事業を実施しました。

これは、「求心力のあるスポーツ・サッカー」を通じて行う交流が、被災地の復興への力になると考え、第1回とし

て2011年8月には、被災地3校の中学生を岡山に招へいし、岡山の中学生とサッカーを通じた同世代交流を実現しました。そして、第2回目は同世代交流と被災地間交流というコンセプトを合わせ、宮城県気仙沼市立津谷中学校のグラウンドを会場に2012年11月に開催しました。

第3回の開催当日には朝、ゲリラ豪雨が降り、グラウンドの水抜きが急ぎよくなったため、開催が30分遅れましたが、その後、天候にも恵まれ、子どもたちの笑顔があふれました。

参加校は大槌町立大槌中学校、気仙沼市立気仙沼中学校、気仙沼市立津谷中学校、南三陸町立志津川中学校の4

校のサッカー部の学生と引率の教諭らで学校を超えた交流がスムーズにできるよう、混合チームを作成し試合を行いました。はじめのうちは、ぎこちない様子でしたが、ボールを追いかけプレイをすることで、すぐに打ち解け、多感な時期である中学生たちの交流だからこそ感じる絆やエネルギーに、世代を超えて感動が生まれました。

中学生(岡山市立吉備中学校)が被災地視察



大槌中学校で校長先生にお話を聞く吉備中学生たち

2013年7月22日から26日の日程で、吉備中学生5名が宮城県、岩手県の被災地を訪れました。これは、吉備学区連合町内会が主催となって行われたもので、現地での受け入れ調整をおAMDが担当しました。

緊急医療支援期に、AMD調整員と

して活動した西村輝氏が、中学生の引率を行い、宮城県石巻市雄勝町と岩手県上閉伊郡大槌町を中心に視察やボランティア活動を行いました。雄勝町では、雄勝中学生との交流や雄勝診療所での肩もみボランティア、漁師の作業手伝いしました。また大槌町では、大槌中学校を訪れ、校長先生のお話を伺いました。

参加した中学生からは「自分たちができることは募金ぐらいしかないと思っていたので、こういう機会があって、すぐに応募しました。現地に行けて本当によかったです。」との声が聞かれました。

AMD大槌健康サポートセンターだより



親子でつくる天然酵母パン教室

仮事務所で活動から、もうすぐ半年が過ぎようとしています。地域の方のニーズを反映させながら体操教室、XXXXXXXXXX教室、手芸教室、託児付きのママヨガ教室、フライパンとポリ袋で作る天然酵母パン教室などを実施しています。さらに、キャラ弁サークルなどの企画もスタートしています。

大槌健康サポートセンターの電話番号が変わりました。

TEL・FAX 兼用
0193-55-5421

AMD-仙台夜まわりグループ共催のお知らせ

食糧と人道支援シンポジウム「東日本大震災を通して見えたもの」

【日時】2013年11月2日(土) 10:00開会 【会場】岡山国際交流センター 5F会議室1

第3回復興グルメF-1大会を開催しました！

2013年7月21日に第3回目となる復興グルメF-1大会が石巻市おしかのれん街で開催され、3県8地域12チームがエントリーし、これまでで最大規模の約3,000人の方に来場いただきました。

開催前は出店者の方々から「こんなに遠くまで、お客さん来るのかな？」と不安の声も聞かれましたが、開催直後よりチケット売り場や各テントには、全国から訪れた方々で長蛇の列ができ、開始2時間で完売続出となるにぎわいになりました。

来場者の方々からは、「美味しい！楽しい！感動した！」「東北の各地の人と交流できて嬉しい」と、出店者の方々からは、「みんなが美味しいと言って、



表彰式後に参加者全員で

笑顔になる姿を見て励みになった」「他の商店街さんと関わって勉強になった」などの声を聞くことができました。

それぞれの入賞者が発表されるたびに歓声が湧き、優勝はおしかのれん街の「おしかモビードッグ」が選ばれました。他のチームの入賞を、参加チーム全員が讃える姿に、その場にいた皆が感動し、本大会の意義を感じた瞬間でした。

今回、福島県からの初参加となったTEAM南相馬は、風評被害という問題が根強い中、不安を抱えながらの参加でした。しかしテントの前には行列が絶えず、2位に入賞する健闘で、福島県の多くの人に勇気と希望を届けられたようです。

フライパンで作る天然酵母パン作り講師の養成講座 in 雄勝町

石巻市雄勝町では「フライパンで作る天然酵母パン作り講師の養成講座」が9月5日からスタートしました。参加者12名が講師を目指して全12回を受講しています。



南三陸診療所の皆さんと
写真中央・福吉看護師

被災地医療機関支援として、AMDAでは宮城県南三陸町の公立志津川病院および南三陸診療所に対して、春季、夏季、冬季の地元医療スタッフが長期休暇を取る時期に、地元医療スタッフの負担を軽減すべく、2011年の夏季から医療ボランティアを派遣しています。

今回は、3年目の夏季派遣として、8月4日から9月7日までの期間に、医師1名、看護師3名の計4名を派遣しました。

次回は冬季派遣を予定しています。

【夏季医療派遣者 プロフィール】

- 山河 城春（やまかわ しろはる）：看護師／埼玉県在住（8/4～9）
- 山崎 希（やまざきのぞみ）：看護師／岡山県在住（8/8～15）
- 福吉 恵子（ふくよしけいこ）：看護師／広島県在住（8/14～19）
- 鮫島 光博（さめじま みつひろ）：医師／東京都在住（9/1～7）

災害鍼灸チーム育成プログラム開催



雄勝町で吉田鍼灸師による鍼灸治療の様子を見学

AMDAでは東日本大震災の緊急医療支援期（2011年3月、4月）に、鍼灸治療を取り入れて支援活動を行っていました。その際の鍼灸治療のニーズは非常に高く、また得られる効果も高く、被災地における鍼灸治療の必要性を確信しました。現在も被災地の健康支援として岩手県大槌町、宮城県石巻市雄

被災地間相互交流事業 第1回 仮設商店街による情報共有会開催



積極的な意見交換が行われた

9月10日、気仙沼中央公民館を会場に『第1回 仮設商店街による情報共有会』を開催しました。「復興グルメF-1大会」の参加者からの「今後の本設に向けての計画及び情報交換などを行いたい。」という声に応え、開催に至りました。岩手、宮城の仮設商店街9ヶ所から20名が参加。4つの仮設商店街の代表者によるプレゼンテーションの後、今後の商店街の在り方や、現在抱えている問題などについて、参加者による活発な意見交換が行われました。今後も定期的な情報共有会を開催していく予定です。

フィリピンルソン島台風洪水 緊急医療支援活動



支援物資を配布する AMDA 医療スタッフら

フィリピン北部・首都マニラのあるルソン島で、台風と季節風の影響により、2013年8月17日から20日にかけて大雨が続き、洪水被害が発生しました。死者25名、負傷者30名、行方不明者3名、被害地域は18州37市155自治体にのぼり、被災者数は292万9766名を数えました。(フィリピン国家災害対策本部発表)

この被害状況を受け、AMDA 本部は

フィリピン軍 (the Armed Force of Philippines) と協働で、緊急医療支援を行うことを決定し、8月24日に看護師1名、調整員1名を派遣しました。

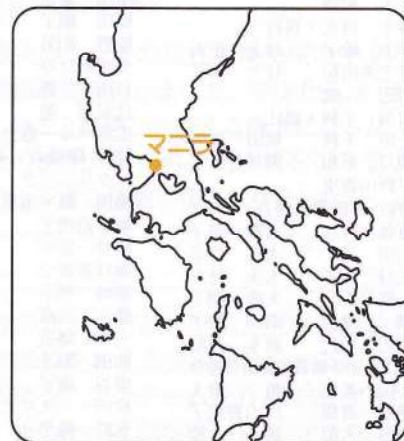
洪水被害が大きく、浸水状態が続いているブラカン (Bulakan) 州ハゴノイ (Hagonoy) 市タンボック (Tampok) 村の教会で、無料診療を実施し、のべ210人を診察しました。主な疾患としては、風邪などの上気道感染、皮膚疾患などで、必要に応じて医薬品を処方しました。また、タンボック村を含む4つの村で支援物資の配布も行いました。支援物資としては、米2キロ、ペットボトルの水2本、缶詰3個、インスタント袋麺、インスタントカップ麺、クラッカー各1個、インスタントコーヒー (5杯分) を一袋とし1009名分を、フィリピン軍や地元の団体の協力をえて配布しました。

住民からは、「こんなにたくさんの支

援物資をもらったのははじめて。」「早く子供に食べさせたい。」「医療支援は初めて行われた。本当にありがとう。』と感謝の言葉が聞かれました。

■派遣者

山崎 希: AMDA 職員、看護師
古谷 ミラソル: 調整員、岡山倉敷フィリピーノサークル所属



山口・島根豪雨被害に対する AMDA・総社市合同緊急支援活動



総社市役所を出発した合同支援チーム

2013年7月28日に山口県北西部および島根県南東部を襲った豪雨で、降り始めからの雨量は午後7時までに島根県津和野町で381ミリ、吉賀町で236.5ミリ、益田市で73.5ミリとなり、県内を流れる川は一気に増水し、土砂災害や川の氾濫が相次ぎました。住宅の浸水被害も多く、さらに各地で道路

が寸断されたほか、一部では線路も流されるなど、甚大な被害が発生しました。

甚大な被害を受けた地域のうち、山口県山口市と島根県津和野町は、岡山県総社市とゆかりが深く、また総社市はAMDAグループとの多文化共生に関する協定を締結していることから、この2つの地域の被災者に対して、総社市とAMDAの合同緊急支援活動の実施が決定。AMDAからは看護師1名を派遣し、支援物資として経口補水液、大人用紙おむつ、頭痛薬、総合風邪薬、外傷用軟膏、湿布薬、下着などを用意しました。

30日に総社市役所を出発した合同支援チームは、同日、陸路で山口市阿東総合支所と島根県津和野町役場に支援物資を届けました。支所の方からは、「遠方の方からわざわざ物資を届けてくださり、ありがとうございます。使わせていただきます。」という言葉いただき、発生から初期の段階での支援物資到着と、チームの訪問を歓迎してくださいました。

なお、AMDAと総社市との合同緊急支援活動は、2011年1月ブラジルリオデネイロ洪水、2011年3月東日本大震災に続き3例目となりました。

■派遣者: 岩本 智子、AMDA 職員、看護師 (米国ライセンス)

AMDA、岡山県立大学、総社市三者連携協定の締結



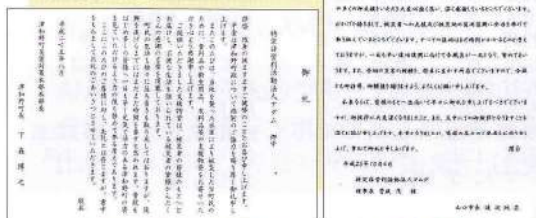
調印式の様子
写真左から菅波代表、辻学長、片岡市長、渡邊市議長

2013年9月10日、総社市役所にて、AMDAと岡山県立大学と総社市の「世界の命を救う」協定が締結されました。

三者が協力、連携し、災害支援、地域振興、教育・人材育成、福祉の分野で、それぞれの得意分野を生かした「世界の命を救う」活動を行うものです。主な連携協力事業は、南海トラフ大震災に対応するための3者連携プログラムの策定や災害支援活動、地域振興事業、教育・人材育成推進事業、福祉事業など。これらを基本的な柱とし、より具体的なプログラムを実践していく予定です。

感謝のお手紙をいただきました

島根県津和野町 下森博之町長、山口県山口市 渡辺純忠市長より、今回の合同支援活動に対して、それぞれから感謝のお手紙をいただきました。



<p>〈講演〉 7月9日 7月14日 7月16日 7月22日 7月23日 7月27日 7月29日 8月2日 8月6日 8月7日 8月21日 8月28日 8月28日 9月6日 9月7日 9月7日 9月13日 9月14日 9月22日 9月24日 9月27日 9月27日</p>	<p>ボランティアに参加するにあたってのマナー 平成25年度 青友会 懇親会「社会貢献のあり方」 平成25年度 第1回小講演会「東北震災支援活動について」 平成25年度 四国教区装具研修会 災害時での心構え、準備、行動について 岡山北ロータリー・クラブ例会 卓話時間 平成25年度釜石公民館 わんぱく広場 ボリ袋で作る天然酵母パン(大槌パン教室) 親子 de AMDA「AMDAのつどい」 第63回広島県公立中学校長研究大会福山大会 記念講演 玉野市教育研究所道徳部会 第一回研修会 AMDAの国際貢献・国際理解について 夏期人権教育研修会「人権とは何か」について これまでの医療活動について 人権教育講演会 人道支援外交 「国際看護」諸外国における保健・医療の状況、国際協力について 地域国際化推進研修会 国際協力、国際交流及び国際理解教育について 山陽看護学研究会集會 グローバル社会における看護の役割 「災害看護」被災地での看護の役割 定例会 卓話 地区奉仕プロジェクトセミナー「AMDAの現在の活動と世界が求める人道支援」 「もっと知ろう!ESD」～トーク&チャリティーコンサート～ トークライブ 平和活動学習会「バングラディッシュってどんな国?AMDAさんに聞いてみよう」 備前ロータリークラブ 例会「AMDAについて」 社会人講師活用事業 「国際看護」</p>	<p>岡山県立興陽高等学校 岡山中学高等学校 青友会 岡山県立岡山芳泉高等学校 天台宗四国教区 岡山北ロータリークラブ 釜石市立釜石公民館 おかやまコープ美作エリア委員会 広島県公立中学校長会 玉野市教育委員会 教育研究所道徳部会 岡山県健康の森学園支援学校 メディカ大阪 倉敷市下津井公民館 岡山県立真庭高等学校 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 山陽看護学研究会 岡山県立真庭高等学校 茅ヶ崎中央ロータリークラブ 国際ロータリー第2780地区奉仕プロジェクト委員会 山陽放送株式会社 おかやまコープ岡山東エリアくらし応援委員会操南 備前ロータリークラブ 岡山県立倉敷中央高等学校</p>
<p>〈大学講義〉 7月16日 9/5・9/7・9/12・9/19・9/26 9月7日・9日・10日</p>	<p>学生生活概論(人文科学部・教育学部授業)「ボランティア活動」 災害看護(系統看護学講座・統合分野) 保健福祉学研究科「災害医療援助特論」</p>	<p>就実大学 相生看護専門学校 岡山県立大学大学院</p>
<p>〈イベント〉 7月7日 7月20日 7月21日 7月30日・31日 8月10日 8月11日 8/21～29 9月7日 9月21日 9月28日</p>	<p>第311回備前岡山京橋朝市 AMDA のとろダックサテー出店参加 AMDA フードプログラム:フィールド見学・新庄村のとろホテル祭り 第3回『復興グルメ F-1大会 ～集まろう!伝えよう!つながろう東北!～』(主催:おしかのれん街・気仙沼復興商店街南町紫市場・AMDA) 災害鍼灸チーム育成プログラム チャリティーコンサートバク・ジュニョン「Summer LIVE 2013」 AMDA 東日本大震災被災地間サッカー観音プログラム 第3回アムダ国際塾(スリランカ) 第10回災害セミナー開催 被災地を忘れないー被災地の地域医療と災害鍼灸ー(岡山県立大学大学院「災害医療援助特論」公開講座 協力:AMDA) AMDA-VSCO 合同シンポジウム「女性の権利と相互扶助～自尊心を取り戻すためには～」(共催:公益社団法人サポートセンターおかやま(VSCO)・AMDA) AMDA フードプログラム AMDA 野土路農場(新庄村)収穫祭</p>	<p></p>
<p>〈AMDA 高校生会活動〉 7/15・8/10・9/8 7月25日・26日 7月28日 8/24～27 8月25日</p>	<p>AMDA 高校生会 定例会 国際ソロプチミスト日本西リジョンユースフォーラム(於:丸亀市) 参加 AMDA 高校生会 活動報告会 東日本大震災復興ボランティア 参加 高校生イニシアティブ防災理解教育フォーラム&轟さんとの交流会 参加 (主催:岡山西南ロータリークラブ)</p>	<p></p>
<p>〈インターン〉</p>	<p>7月1日(月)～5日(金)・東邦大学(総合実習 国際看護学)看護学部看護学科 4年生 勝又 望 7月～岡山大学法学部法学科3年 竹内 裕美</p>	<p>アムダ野土路農場 9月18日(水)～20日(金) 職場体験受入 新庄村中学校 生徒(2名)</p>

AMDA フードプログラム

「食は命の源」をコンセプトにアジアに有機農業を啓蒙・普及することを目的とする AMDA フードプログラム。本年度は、無農薬、有機栽培での米作り、野菜作りの実践に併せて、技術指導のためインドネシアからの研修生2名を受け入れました。

収穫祭の開催

9月28日に開催された AMDA 野土路(のどろ)農場の収穫祭に、インドネシア領事館から領事ご夫妻が、新庄村からは村長、議長をはじめ村議の皆様にもご参加いただき、AMDAの支援者の方など約60人が参加。稲刈り、はで干し体験やバーベキューなどを楽しみました。



みんなで一緒に収穫体験(写真左からデンラさん、スギアント領事、世野村長、イカワティさん)

研修生の報告会：約半年の研修が終了



研修生による報告の様子

新庄村公民館でインドネシア研修生による研修報告会が9月30日に行われました。村民の方々など約40人が集まる中、2名の研修生が活動報告を行いました。4月の土づくりから始まり、収穫まで

を体験した2名は、「まずは堆肥づくりから始めて、早く実践したい。稲作だけでなく、野菜作りもしたい。美味しい農産物をマリノ村の人たちに食べさせたい。AMDAスタッフだけでなく、新庄村の皆さんにお世話になり、有機農業だけでなく、思いやりの心など、たくさんの方を教えていただいた。ほんとうにありがとうございました。」と話しました。研修生2名は10月2日で研修を終え、帰国の途につきました。今後はインドネシアスラウェシ島で彼女たちが指導者となり、有機農業をスタートさせます。

のどろ のどろまい 野土路ダック・野土路米取扱いのお店紹介

2013年度の収穫が終わり、11月にはAMDA野土路(のどろ)農場産の新米をお買い求めいただけます。農薬を一切使わず、源流の水で、アヒル農法で作った美味しいお米です。ぜひ一度ご賞味ください。ひめのもち米も好評です。

AMDA 野土路米を購入できるお店 (50音順)

株式会社 晴富 オンラインショップもしくはカタログで注文 <http://www.harutomi.co.jp/>
【TEL】086-293-1711
ハルミの種 オンラインショップで注文 <http://www.harumi-tane.tv/>

AMDA 野土路ダック料理が食べられるお店 (50音順)

トラットリアミズオチ 岡山市北区内山下1丁目3-3 【TEL】086-234-1122
晴れ国ダイニング・プロボスタ 岡山市北区丸の内2丁目12-27(11月22日より) 【TEL】086-235-1377
日本料理・きこにあ 岡山市北区新屋敷町1丁目10-22 【TEL】086-245-1122
レストランテ収穫月(みのりづき) 倉敷市中島2407-112 【TEL】086-466-7022

多くの方々からご寄付をいただきました。一部を紹介します。



グアテマラを語る会様

瀬戸南高校様

川崎国際福祉大学保健福祉学部ボランティアアソシエーション様

ジュニアインターンシップ インターン紹介



岡山大学法学部3回生 竹内裕美

私は大学で国際法のゼミに所属しており、担当教官である黒神先生のご紹介でAMDAで働かせていただいております。私のような一学生を快く受け入れていただき大変恐縮です。国連に認められたNGOであるAMDAで働かせていただくことは私にとって非常に貴重な経験であり、インターン生として吸収できることをすべて吸収していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

AMDA 鎌倉クラブ主催
チャリティーコンサート VOL.15
—絆II— 東日本大震災復興支援

【日時】
2013年12月1日(日) 14:00開演
【会場】
鎌倉芸術館 小ホール
【出演】
沢木 順、白澤 みさき、崔 宗宝、
根津 章伶、箏曲絃侖会、渡辺 光ほか
【問い合わせ】 AMDA 鎌倉クラブ
TEL: 0467-24-2969